

Weekly コラム

平成 26 年 12 月 22 日

〒541-0055 大阪府中央区船場中央 2-1

船場センタービル 4 号館 4 階

船場経済倶楽部

Tel 06-6261-8000

(NPO 法人 SKC 企業振興連盟協議会) Fax 06-6261-6539

人の輪・衆智・繁栄

活動方針



当団体は、異なる業種の経営者が相集い、力を合わせ、自らの研鑽と親睦を通じて、斬新な経営感覚と新たな販売促進を創造して、メンバー同士でより健全な事業所とその事業所のイメージアップを図り、地域社会に貢献できる事業所となることを目的とする。

光 と 影

10 月に発表になった IMF の成長率見通しでは、日欧や新興国が軒並み下方修正を強いられる中、3.1%を維持したのが米国です。

いわば ” 独り勝ち ” の評価を勝ち得た訳ですが、その牽引役は旺盛な個人消費です。その中で特に調子がいいのは、7 年ぶりに 1600 万台を超えるのが確実といわれる米自動車市場です。ただこの好調の裏には、あのサブプライムローンが関係している事をご存知でしょうか。

米信用調査会社によれば、14 年 4-6 月期の米自動車ローン残高は、前年同期比 +11.7% の 8390 億ドル (約 87 兆円) とすでに過去最高を更新しております。それに合わせて増えているのが、サブプライム自動車ローンを担保とした証券です。9 月終了時点で 177 億ドルに達しており、このペースでは 2006 年の過去最高の 216 億ドルを突破する勢いです。ではなぜ、あの壊滅的な損失をもたらしたサブプライムローンが人気を集めているのでしょうか。

理由の 1 つ目としては、超低金利の中で資産運用会社があらゆる種類の債券に手を出していることです。そうさせるのは、前回の信用危機時に自動車ローンの方が住宅ローンよりもパフォーマンスが良かったからです。それに加え、格付け会社が高い評価の格付けをするところが多いため、この債券を購入することに繋がっているようです。

そして、もう 1 つの理由は投資会社やヘッジファンドが、過去 3 年間で膨大な数の新たな自動車ローン会社を後押ししてきたことです。その金融会社の資金調達コストがわずか 2% というのもあるようで、それを利用してか、大手自動車会社の中には最長 6 年の自動車ローン金利を異例のゼロ金利にしているところもあるようです。

これまでのところは、このブームが悲しみを招いている兆候は見られていません。自動車ローンのデフォルト (債務不履行) 率は約 1% と低水準に留まっております。また、住宅に比べれば車は安価なものであるため、金融システムの不安には繋がらないとの見方があります。ただ、待ち受ける 2015 年は米国の政策金利を上昇し始めると言われる年です。金利が上昇すればデフォルトが急増する可能性は高いと言えます。物事には「光と影」が付きものですが、影が表にでないような舵取りを、米国は求められているように思います。



記事の内容に関するお問い合わせは事務局までご連絡ください。